

## 第1学年国語科学習指導案

**単元名** 「故事成語と自分の生活を結び付けて考えよう」 ～自分のものの見方や考え方を広げる～

**教材名** 「今に生きる言葉」(光村図書「国語1」)

### 1 単元について

小学校学習指導要領解説国語編, 第3学年及び第4学年の〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕では, 「ア(イ)長い間使われてきたことわざや慣用句, 故事成語などの意味を知り, 使うこと」とあり, 生徒は小学校の学習において, 日常生活でよく用いられる故事成語などについて, その意味や用法についてある程度理解していると考えられる。

一方, 佐賀県の中学1年生の実態として, 平成23年佐賀県小・中学校学習状況調査において, 「言語事項」の「日常場面で, ことわざを適切に使うこと」を問う設問では, 正答率が期待正答率「おおむね達成」には達しているものの他の設問に比べて正答率が低くなっているのが課題である。また, 「文章や資料から読み取ったことを使って, 様式に合わせて書くこと」と「目的や意図に応じた書式や様式を活用し, 礼状や依頼状などの手紙を書くこと」を問う設問の正答率が期待正答率を大きく下回っており, 自分の考えの形成やその表現については課題があることが分かっている。

本単元では, 故事成語の中から「矛盾」を教材として, 故事成語の成り立ちや現代の意味・用法などを学んだ上で, 自分の選んだ故事成語について, それが当てはまりそうな日常生活の出来事を結び付けて考え, 起承転結の構成メモを基に4コマ漫画をかいて読み合う言語活動を位置付けている。この言語活動を通して, 現代に生きる古典には様々な作品があることを知らせるとともに, 自分のものの見方や考え方を広くさせることをねらいとし, 課題の解決を目指している。教材は, 日常会話や文章の中でよく用いられる故事成語であるので, それらのねらいに適した教材と言える。

指導に当たっては, 「矛盾」の基になる故事と自分の体験を結び付けて4コマ漫画に表して理解を深める学習活動が, その他の故事成語とそれに合う出来事を4コマ漫画にかくことのモデル学習となるように配慮したい。また, 様々な故事成語を提示することで, 言葉に対する生徒の関心を高めたい。そして, 起承転結の構成メモを基に4コマ漫画をかいて読み合うことで故事成語への理解を深め, これを基に自分のものの見方や考え方を広くすることにつなげたいと考える。

### 2 単元の目標

- (1) 故事成語の基になった漢文に表現された内容に関心をもち, 故事成語の意味に合う出来事と結び付けて考え, 交流してものの見方や考え方を広げようとする。(関心・意欲・態度)
- (2) 文章に表れているものの見方や考え方を捉え, 自分のものの見方や考え方を広くすることができる。(読むこと)
- (3) 古典には様々な種類の作品があることを理解することができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

### 3 本単元における言語活動

故事成語と日常生活の出来事を結び付けて考え, 起承転結の構成メモを基に4コマ漫画を書き, 故事成語との関連を考えながら読み合う。(関連: 言語活動例 ウ) (読むこと)

4 単元の評価規準 ( )内は該当する指導事項等の記号

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
① 故事成語の基になった漢文に表現された内容に関心を持ち、故事成語の意味に合う出来事と結び付けて考え、交流してももの見方や考え方を広げようとしている。	① 故事成語の基になった漢文に表れているもの見方や考え方を捉え、自分のもの見方や考え方を広くしている。 (オ)	① 故事成語の基になった漢文を知り、古典には様々な種類の作品があることを理解している。(1)ア(イ)

5 指導と評価の計画(全5時間)

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
一	1	1 故事成語について確かめる。 2 「矛盾」の基になった漢文を音読し、読み慣れる。 3 「矛盾」の基になった漢文と現代語訳を交互に読み、大体の意味を捉える。 4 学習計画を知り、見通しをもつ。	○小学校で学んだ故事成語や、身近な故事成語などを取り上げて、基になった漢文の内容を紹介して興味をもたせる。 ○教師の音読を聞いて、表記と読み方を照らし合わせるようにする。 ○繰り返し音読することによって、漢文独特のリズムを味わわせる。 ○学習計画表の使い方について説明する。	[言語についての知識・理解・技能]① 学習計画表
二	2	5 教科書の「矛盾」の4コマ漫画にセリフを入れる。 6 「矛盾」の意味を一文で書き、国語辞典の「矛盾」の意味と比較して、内容の確認をする。	○現代語訳を参考にしながら、自分の言葉で、セリフを書き入れさせる。 ○書き入れたワークシートをグループで確認し合うことで、内容の理解を確実にさせる。	[読む能力]① ワークシート①
	3	7 日常生活の中における「矛盾」した出来事を考え、起承転結の構成メモを基に4コマ漫画をかく。 8 グループで4コマ漫画を読み合い、交流する。	○4コマ漫画にするために、起承転結の4場面に分けて構成メモを書かせる。それを基に、4コマ漫画をかかせる。 ○絵をかくことが苦手な生徒にはマルや棒線を使った略画(簡単な絵)でもよいことを伝える。 ○グループで4コマ漫画を読み合い、一言感想を伝えさせる。	[国語への関心・意欲・態度]① ワークシート②

4	9	資料集や国語辞典などを用いて、いろいろな故事成語について調べる。	○資料集や国語辞典の故事成語について、故事と意味を読ませる。	<div data-bbox="1054 208 1414 309" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           [読む能力]① ワークシート③         </div>
10	故事成語を1つ選び、起承転結の構成メモを基に4コマ漫画をかく。	○故事成語に当てはまる体験がないか考えさせる。 ○思い当たる体験がない場合は、創作でもよいことを知らせる。		
三	5	11 起承転結の構成メモや4コマ漫画を紹介し合い、様々な故事成語があることを知る。  12 単元の学習を振り返り、身に付けた力やその力を活用できそうな場面について考える。	○グループの中で読み合って、感想を交流させる。 ○グループの中で、他のグループに紹介したい作品を選び、全体の場で発表させる。 ○単元の学習活動について教師の評価を伝え、次の学習の意欲をもたせる。	<div data-bbox="1054 517 1414 618" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           [読む能力]① 評価表, 学習計画表         </div> <div data-bbox="1054 629 1414 775" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           [国語への関心・意欲・態度]① 観察, 学習計画表         </div>

6-1 1 / 5時の指導計画

(1) 目標

- ・ 故事成語の基になった漢文を知り、古典には様々な種類の作品があることを理解することができる。

(2) 展開

過程	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 知っている古典作品を思い浮かべる。 2 「故事成語」の言葉の意味を確かめる。 3 故事成語の基になった故事を知り、漢文に興味をもつ。 4 本時の目標を知る。		○小学校で学習した古典作品を思い出させる。 ○「故事成語」がどういう言葉を表すのか確かめさせる。 ○小学校で学習した故事成語の基になった文章で、身近なものを紹介する。	
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">             古典には様々な作品があることを確かめよう           </div>				
展開	4 「矛盾」の基になった漢文を音読し、読み慣れる。 [手順] 1) 教師の範読を聞く。 2) 教師の後について一斉に読む。 3) 原文を区切ってグループで分担して読む。 4) グループの音読を聞き合う。 5 「矛盾」の書き下し文と現代語訳を交互に読み、大体の内容を捉える。 6 学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">             故事成語に合った出来事を4コマ漫画にして読み合い、自分のものの見方や考え方を広げよう。           </div> 7 学習計画を知り、見通しをもつ。	学習計画表	○「矛盾」の故事について大まかに説明してから、基になった漢文を音読する。 ○教師の音読を聞いて、表記と読み方を照ら合わせるようにする。 ○繰り返し音読することによって、漢文独特のリズムを味わわせ、古文とは違うリズムであることを感じ取らせる。 ○今に生きる故事成語が、「矛盾」の他にも多くあることを知らせ、生徒の興味を喚起する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>【言①】</b> 故事成語の基になった漢文を知り、古典には様々な種類の作品があることを理解している。  <b>【学習計画表】</b> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             既習教材の「竹取物語」や、その他小学校で学習した古文を思い出させ、漢文との違いに気付かせる。           </div>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ</p>	<p>8 本時の学習を振り返る。</p> <p>9 次時の見通しをもつ。</p>	<p>学習計画表</p>	<p>○「学んだこと」の欄に、「矛盾」の基になった漢文と「竹取物語」の古文との違いや共通点などを書かせる。</p> <p>○次時は、国語辞典や資料集などの学習用具の準備をすることを伝える。</p>	
--	--	--------------	--	--



6-3 3/5時の指導計画

(1) 目標

- ・ 故事成語の基になった漢文に表現された内容に関心を持ち、故事成語の意味に合う出来事と結び付けて考え、交流してもの見方や考え方を広げようとする。

(2) 展開

過程	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 「矛盾」の意味を確認し前時までの学習を振り返る。 2 本時の目標を確かめる。	学習計画表	○前時に確認した「矛盾」の意味を板書する。	
「矛盾」の基になった故事と自分の体験を結び付けて考えよう				
展開	3 日常生活における「矛盾」した出来事について考える。 4 日常生活の中の「矛盾」した出来事について起承転結の構成を考えて書く。 5 ワークシート②の構成メモを基にして、4コマ漫画をかく。 6 グループで4コマ漫画を読み合い、交流する。	ワークシート① ワークシート②	○教師自身の体験を紹介し、振り返りやすくさせる。 ○起承転結について「矛盾」の4コマ漫画を使って説明する。 ○想起した出来事について起承転結の構成を考えてワークシート②の構成メモに書かせる。 ○実際に体験したことだけではなく、創作してもよいことを伝える。 ○絵をかくのに抵抗のある生徒には、マルや棒線などの簡単な線でかく絵でよいことを知らせる。 ○グループで4コマ漫画を読み合い、一言感想を伝えさせる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【関①】 故事成語の基になった漢文に表現された内容に関心を持ち、故事成語の意味に合う出来事と結び付けて考え、交流してもの見方や考え方を広げようとしている。 【ワークシート②】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>当該生徒の日常生活から類推して、当てはまるような体験をいくつか例に挙げて、自分の体験を振り返らせる手掛かりとさせる。また、体験の思い浮かばない生徒については、生徒のよく知っている物語や漫画作品などの出来事を例に示して4コマ漫画をかかせるようにする。</p> </div>
まとめ	7 本時の学習を振り返る。 8 次時の見通しをもつ。	学習計画表	○「学んだこと」の欄に、最も印象に残った4コマ漫画とその理由を書かせる。 ○次時は自分が選んだ故事成語について、起承転結の構成メモを基に4コマ漫画をかくことを確かめる。	

6-4 4/5時の指導計画

(1) 目 標

- ・ 故事成語の基になった故事の内容を理解し、自分のものの見方や考え方を広げて4コマ漫画の内容を考えることができる。

(2) 展 開

過程	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 学習計画表で前時までの学習を振り返る。 2 本時の目標を確かめる。	ワークシート② 学習計画表	○ワークシート②を読み返させ、故事成語が日常生活で生きて使われることを実感させる。	
故事成語に合う出来事を考えて、起承転結の構成メモを基に4コマ漫画をかこう				
展開	3 資料集や国語辞典などを用いて、いろいろな故事成語について調べる。  4 4コマ漫画をかく故事成語を決める。  5 選んだ故事成語について、起承転結の構成メモを書き、それを基にして4コマ漫画をかく。  6 かいた4コマ漫画を読み返し、故事成語の意味と合っているか確かめ、推敲をする。	資料集 国語辞典          ワークシート③	○故事成語で表現されるような体験をしたことがないか考えさせながら読ませる。  ○自分の体験を想起させるような故事成語から選ばせる。  ○起承転結の構成メモを確かめながら書かせる。  ○吹き出しに書かれたセリフや、起承転結のコマ割りなどが適切かどうか考えながら読むように指示し、4コマ漫画を分かりやすくさせる。  ○書き上げた生徒には、他の故事成語についてもかいてみるよう勧める。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>【読①】</b> 故事成語の基になった故事の内容を理解し、自分のものの見方や考え方を広げて4コマ漫画の内容を考えている。  <b>【ワークシート③】</b> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           学校行事や他教科の学習における経験などから、故事成語にあった場面を具体的に例示し、自分の体験と似ているものについて4コマ漫画をかかせる。また、生徒のよく知っている物語や漫画などの出来事から故事成語に合うものを4コマ漫画にかかせる。         </div>
まとめ	7 本時の学習を振り返る。  8 次時の見通しをもつ	学習計画表	○初めて知った故事成語や、印象に残った故事成語について「学んだこと」の欄に記入させる。 ○次時はグループで読み合い、グループの代表が、全体の場で発表することを確認する。	



6-5 5/5時の指導計画

(1) 目標

- 4コマ漫画を読み合って故事成語の基になった故事の内容を理解し、自分のものの見方や考え方を広くすることができる。
- 故事成語の基になった漢文に表現された内容に関心を持ち、故事成語の意味に合う出来事と結び付けて考え、交流してものの見方や考え方を広げようとする。

(2) 展開

過程	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 学習計画表で前時までの学習を振り返る。 2 本時の目標を確かめる。	学習計画表	○ワークシート③を読み返させ、故事成語の意味と合っているか再確認させる。	
起承転結の構成メモや4コマ漫画を読み合って、ものの見方や考え方を広げよう				
展開	3 グループで起承転結の構成メモや4コマ漫画を読み合い、様々な故事成語について、その意味を理解する。  4 グループで作品について、「Ⅰ 故事成語の意味と合っているか」、「Ⅱ 日常生活でありそうな出来事か」について評価をし合い、学級で発表するグループの代表者を決める。  5 学級で代表者の4コマ漫画を発表し合い、4コマ漫画の基になった故事成語を考える。 [手順] 1) グループの代表者は基にした故事成語を伏せて起承転結の構成メモを基に4コマ漫画を発表する。  2) 発表を聞いて、思い浮かぶ故事成語を発表する。  3) 友達の発表を聞いて初めて知ったことや、深く考えさせられたことを評価表に記入する。	ワークシート③  付せん  実物投影機  評価表	○4コマ漫画にかかれたような体験をしたことがないか考えさせながら読ませる。  ○故事成語の意味と作品の出来事が合っているかどうか考えながら読ませる。 ○友達の作品を読んで考えたことを付せんに書いて作品に貼り付けて回すように指示する。  ○作品を発表する際は、基にした故事成語を伏せて発表させ、聞き手が思い浮かぶ故事成語を言っているというクイズ方式で行う。 ○故事成語を思い浮かべる根拠となったところも併せて発表させる。 ○初めて知った故事成語や、意味、故事などから印象に残るもの、及び、深く考えさせられたことを書かせる。	【読①】 故事成語の基になった故事の内容を理解し、自分のものの見方や考え方を広くしている。 【評価表, 学習計画表】  評価文例を示し、その中から選んで書かせる。  【関①】 故事成語の基になった漢文に表現された内容に関心を持ち、故事成語の意味に合う出来事と結び付けて考え、交流してものの見方や考え方を広げようとしている。 【観察, 学習計画表】  発表された作品で、初めて知ったことについて印象に残ることを書くように指示する。

まとめ	6 単元の学習を振り返り、身に付けた力やその力を活用できそうな場面について考え、学習計画表に記入する。	学習計画表	○単元の学習活動について教師の評価を伝え、次の学習単元への意欲をもたせる。	
-----	---	-------	---------------------------------------	--